

明治八年
大坂
錦田
新聞
第廿二号

縵頭喰の偶像類に
 用ひて招き猫其処
 に居ることも問われども是も時運の變転とや
 云ん其原由を尋ねるに西京ある或學校の教師生徒に
 向て曰く父と母と六何れも尊き其返答て是と与ふべし
 て縵頭一ツを渡したるは彼童子歟カ縵頭一ツに於り
 左右の手に持教師に食て此縵頭をちか甘き教へ給へ
 と教師其即智に感せしむる久形流行せしむる
 新聞社中の寓言をれと勸懲の一助もわれ茲に画を
 偶像のやふに思ふに西親ハ
 まんぢうやどにやうく
 九化戲球
 石和板



石和板

錦田新聞

60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9